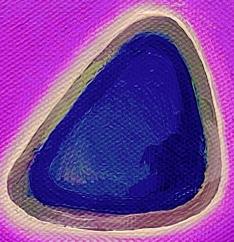
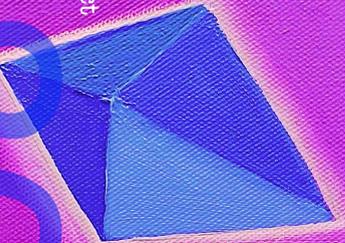


1-21-21-202 Kowada, Ohigasaki, Kanagawa.  
Contemporary Art School **kotte**

[kotte.art.design@gmail.com](mailto:kotte.art.design@gmail.com)  
[terumigoto.com/kotte](http://terumigoto.com/kotte)



contact



08011734198



Contemporary Art

**kotte**

火 10:00~12:30(制作)、13:00~15:30(制作)、15:30-17:00(講義)

土 10:00~12:30(制作)、13:00~15:30(制作)、15:30-17:00(講義,第1,3)

日(第1,3) 10:00~12:30(制作)

講師：後藤てるみ

## アート教養課程

科目	絵画A [抽象]	絵画B [具象]	インスピ レーション 研究	自主 [A]	西洋美術史	現代美術史	彫刻	映像	現代美術	美術館	デザイン 演習 [A・B]	自主 [B]	作家 表現論	修了 制作	
内 容	1-1 絵画材料基礎 【支持体実習】「0」 から始める。キャンバス の貼り方、支持体(木枠、 パネル)の作りかた— 参考：シェイプト・キ ャンバス(フランク・ス テラ) 【色彩(混色)実 習】混色の基本、彩度、 明度の調節と作成した 支持体での抽象画制作 4回=2単位 □	1-6 【油絵具象表現】 静 物・人物・風景等、具象的 で多様なモチーフ(イメ ージ)を用いて、新しい絵画概 念および絵画様式を目指 す。3課題=3単位 □  1-8 kotte特別講習会[3] 【油絵写実表現講習 (Photo Realism)】 絵具感 を排除した高度な描写テク ニック、自身で撮影した写 真を用いて、正確に描写せ よ。 6回=4単位 □  1-5 【人物】美術において の人物表現とは何か。「人 物」を総合的な概念から多 角的に探り、実践する。あな たにとっての人物とは何か。 (参照：ピカソ、マティス、ベ ーコン、シーレ等) 3課題=3単位 □  1-4 kotte特別講習会[2] 【◎デッサン力強化レッ スン】12素材の描き分け、筆 圧、コントラスト、明度、素材 による鉛筆の持ち方の違い デッサンとは何か。今 日のアートにおいて、素描や ドローイングとは異なるデ ッサン力(描写力、写実力)と はいかなる役割を果たす か。8枠=4単位 □	5-1 美術 に限らず 作品とは、 森羅万象 よりイン スピレー ションし、 発生した ものである。  例)哲学、 科学、物理 学、人間関 係、 宇宙、民俗 学、建築、 機械、笑 い、政治、 自然、環 境、災 害、AI、技 術革新、倫 理、善悪、 宗教など 多岐に渡 る。  あらゆる 事象を観 点に則り 考察せよ。 3領域 =6単位 □	4   1  中 間 自 主 制 作 過 程     2 単 位 □	古代から19世 紀までの美術 3-1 【1章 ①②】 古代・ 人間とは何か —美術の発生、 原始美術、宗教 美術—縄文、古 代ギリシア、古 代エジプト— ポンペイ遺跡 の埋没、プリミ ティブとは何 か、普遍、時 間を越えた美術。 2回=2単位 □  3-2 【2章 ①②】 中世・ 宗教、宮廷美術 —画家の誕生— ダ・ヴィン チ、レンブラ ント、フェルメ ール、ベラスケ ス～ 2回=2 単位 □  3-3 【3章 ①②③】 近 代・プロパガ ンダから大衆 芸術へ、芸術家 の夢—ロマン 主義以降の美術 —「美術」 の誕生、印象主 義、後印象主 義～ 3回=3 単位 □	20世紀以降の美術 2-1 【4章①②③】 抽 象画の確立・デュシャ ンの登場・前衛芸術の 開花—フォーヴィスム、 デュシャン、ダダ、バウ ハウス、未来派、形而上絵 画、シュルレアリスム～ 3回=3単位 □  2-2 【5章①②③】 パ リからN.Y.へ、大戦後の 芸術・大量消費社会の 芸術へ—抽象表現主義、 ミニマル・アート、ポッ プ・アート～ 3回=3単位 □  2-3 【6章①②③】 芸 術の多次元化—概念芸 術(コンセプチュアル・ アート)の誕生—キネテ ィック・アート、コンセ プチュアル・アート、パ フォーマンス、ハプニン グ、ヴィデオアート、ボイ ス、日本の前衛芸術 3回=3単位 □  2-4 【7章①②③】 ひ らかれた芸術—もの派、 アースワーク、インスタ レーション、地域アート、 ニューペインティング、 メディア・アート、サウ ンドアート、SEA、ネット アート、政治と芸術、SNS 時代の芸術～(現代美 術講義・つづく) 3回=3単位 □	彫刻とは何 か/立体的な 概念とは何か を理解する。 現代以降の多 様な素材とイ ンスタレーシ ョンへの拡張 を視野に入れ、真に作品 とは何かを問 うことができる ようになる。  6-1 【塑像】 実在のモチ ーフを粘土で立 体的に模すこ とができるよ うになる。 自刻像=2単 位 □  6-2 【多素 材】新たな造 形材料(石膏、 樹脂、シリコ ン、コンクリ ート、石、蠟、金 属等)を扱え るようにな り、作品素材 の可能性を自 ら拡張できる ようになる。 2作品(2素 材)/各 30cm <sup>3</sup> =4単 位 □	映画、ドキュ メンタリー と美術の表 現の違いを 考察する。 7-1 研究 【映画】ヒ ッチコック、 ゴダール、キ ューブリッ ク、黒澤明 他 2作品=1 単位 □  7-2 【現代 美術】 ナ ム・ジュ ン・パイク、 マシュー・ バーニー、田 中功起 他一 ドキュメン タリー、記録 的映像作品 と芸術の相 違点 3～5作品 =1単位 □  7-3 【演 習】映像作 品の企画/撮 影/編集/展 示を行える ようになる。 1作品=2 単位 □	8-1,2,3 企画から制作 —設営—展示 —記録まで ・絵画制作の みでは到達し 得ない、多素材、 他メディアを 扱ったり「鑑 賞」を意識し て活動できる ようになる。写 真、版画、パフ ォーマンス、VR、 インスタレー ション、テキス ト、SEA、レデ ィ・メイド、フ ァウンド・フ ォト等 ・展示設営の 知識、技術、手配 が行えるよ うになる ・公表 (SNS、HP等個 人ウェブサイ トの運営、ポ ートフォリオ、冊 子等)ができる ようになる ・美術史の文 脈から自己の 立ち位置を論 じる 3作品=6単 位 □	実物の鑑賞 —体験、展 覧会を設け た観点に則 り考察せ よ。 9-1 「美術 館」におけ る展覧会を 考察せよ。 (企画展の み、常設展 不可) 12会 場=6～8 単位 □  9-2 「ギャ ラリー」 (オルタナ ティブ含 む)におけ る展覧会を 考察せよ。 10会場=5 単位 □  9-3 「地域 アート」ま たは「その 他の形態」 における展 覧会を考察 せよ。 3会場= 6～8単位 □	【kotte特別 講習会[4]◎ デザイン演 習A,B】 デザインの 概念を学ぶ 10-1 【基礎 A】 デザイン の総合—グ ラフィック、 テキスタイル、 プロダク ト、インテリア、 建築など デザインの 領域から考 える。4回= 2単位 □  10-2 【基礎 B】 デザイン の考え方と は—デザイ ンの本質へ の理解=コ ンセプトと は何かを 「[デザイン のトライア ングル] から 学ぶ。4回 =2単位 □  10-3 【自主 課題】 5課題=2単 位 □	11   1  中 間 自 主 制 作 過 程     2 単 位 □	12-1 これまでの 教養課 程を踏 まえ「今 日の作 品及び 作家形 態」にお いて、い かなる 表現領 域が可 能だろ うか、絵 画、写 真、映 像、イ ンスタ レーシ ョン 等の他、 コンセ プトに 伴う 「最良 の」表 現方 法を問 わず新 しい 表現形 態で模 索し てみる。	修了制作 展示場所 13-1 ・kotteま たは各自 任意の場 所、空間 での展示 =4単位 □  13-2 ス テイトメ ント これまで の修了過 程を考察 し、あなた の「美術 への見 解」を述 べよ。 = 2単位 □  13-3 展 覧会の流 れを作る ことが できるよ うになる。 企画～告 知～会 期の編 集ま まで = 4単位 □	
	単位	16	16	6	2	7	12	6	4	6	20	6	2	4	10
	教材	10-15号キャンバス、油絵 具 【講】 専用ハンドブ ック、画材支給	10-15号キャンバス、油絵具 【講】 専用ハンドブック、画材 支給	プリント、 各自資料	自由	『西洋美術史』 (美術出版社)、レ ジュメ	『20世紀の美術』(美術出 版社)、レジュメ	粘土、 任意材料	撮影機材、PC	素材自由、カメラ、 PC等	プリント	【講】 専用ハ ンドブック、周 囲のデザイン	自由	プリント、 ディスカ ッション	自由

参考書籍 ●『いちばん親切的な西洋美術史』(新星出版社) ●『わかるとはどういうことか』(山鳥重,ちくま新書) ●『形而上学(上)』(アリストテレス,岩波文庫) ●『現代美術史』(山本浩貴,中公新書)  
●『配色の設計-色の知覚と相互作用』(Joseph Albers, BNN新社) ●『複製技術時代の芸術』(W.ベンヤミン,晶文社) ●『シミュレーションズム』(榎木野衣,ちくま学芸文庫) ●『デザインのデザイン』  
(原研哉,岩波書店) ●『芸術作品の根源』(M.ハイデッガー,平凡社ライブラリー) ●『今日の芸術』(岡本太郎,光文社) ●『美術手帖2017.12月号・これからの美術がわかるキーワード100』(美術出版社)

監修:後藤てるみ  
(学芸員資格 武美学芸 第1235号)  
©Terumi GOTO kotte, 2022